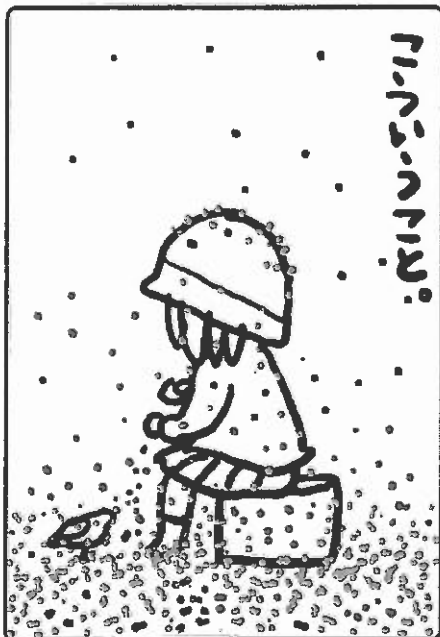


## 私たちの住むところの放射線量は安全?? ホットスポットが増殖

現在、福島県の小学校等の校庭利用の線量基準が年間20 mSv、毎時3.8  $\mu$ Svと決定され、文部科学省から通達が出されています。これは、通常の放射線防護基準（年間1 mSv、特殊な例でも年間5 mSv）よりも警戒期ではあるとしても、はるかに高い数値です。

年間20 mSv近い被ばくをする人は、約8万4千人いるという原子力発電所の放射線業務従事者でも、極めて少ない。

この数値を乳児、幼児、小学生に求めることはどうか？この数値を基準にするのは問題であり、慎重にすべきです。



最近、各週刊誌で独自に日本全体の放射線量の調査がおこない、誌上で発表しています。

この数値を見ると実に驚くべき姿が見えてきます。日本全体がまさに世紀末のSF映画の世界に感じるようになります。

危機を煽るわけではありませんが、現実には以下のような異常な数値がだされています。

原発事故が起きてから3ヶ月以上たつのに日々数値が変わるのは福島原発が水素爆発後も常に放射能を拡散しているということではないでしょうか。

江東区	ららぽーと豊洲前	0.22
江東区	豊洲築地市場移転予定地	0.23
江東区	夢の島公園	0.19
江東区	砂町水再生センター正門排水溝	0.24
葛飾区	水元公園遊歩道	0.45
葛飾区	水元公園内ベンチ	0.62
葛飾区	水元公園歩道脇側溝	0.50
葛飾区	水元公園中央広場芝生	0.51
大阪市	大阪南港大型モール正面	0.22
大阪市	ユニバーサルシティ駅前	0.20
大阪市	アメリカ村の三角公園入り口	0.22
大阪市	うつぼ公園入り口	0.21

循環式冷却装置が1ヶ月もつはずだったのに5時間で停止し、その後ホースが

（単位はマイクロシーベルト）

抜け汚染水が20ト、地表に流出（その後1トに訂正？）。

海に流出が許されている濃度限度の2万5000倍の汚染水が漏れた。（のちに100倍？に訂正したがそれでも異常な数値）。

なぜマスコミがさわがないのが不思議だが海上汚染も一気に広がっている。

汚染水も数日でパンク状態になっている……………。

政府は安全宣言をして今定期検査中の原発を稼働させようとしています。まずは現状の総点検が必要ではと思う。（談）

今後の予定  
7月9日（土）13時より  
2階研修所  
拡大執行委員会

7月31日（日）支部大会

日 刊	<b>JP新東京</b>	No.673	2011年7月4日(月)
		日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部	
		TEL 03-5606-6784 内線 4353	

## 野球好きが集まり暑気払い！ ～一普分会～

7月2日東京ドームにて、一普分会レクとして7口野球観戦ツアーが開催されました。

以前から「分会でも懇親会以外のレクを何か企画したい」と分会会議の中でも話し合われていましたが、ようやく今回実施することができました。

本日のカードは、読売ジャイアンツ対中日ドラゴンズ戦とあって球場内はほぼ満員。試合開始の14時には深夜勤明けの方も含め23名の参加者が集まりました。また、他の分会からも7名ゲストとして参加し総勢30名での観戦となりました。

定刻の14時に西村投手が第一球を投げ、レーボール、ビールやジュースを片手に持参のおつまみを口にしている人、お弁当をほおぼる人、真剣な眼差しを選手に送る人と様々でしたがそれぞれゲームを楽しみました。

試合の方は投手のできがいいのか、打撃が不振なのか定かではありませんが投手戦に。そして、1-1の同点で迎えた8回の裏、長野選手がレフトスタンドに特大の勝ち越しホームラン。これには参加したジャイアンツファンも大喜び。球場内も大歓声で最高のボルテージに達しました。

最終回、山口投手がぴしゃりと締めてゲーム終了と

なりました。

途中、ドラゴンズが得点した際に、はしゃぎすぎて周りの熱狂的なジャイアンツファンから白い目で見られた参加者もいましたが、終始なごやかなムードの中での観戦となりました。

ゲーム終了後にスタンドに残り、観戦記念に参加者全員で集合写真を撮影し、「大変厳しい状況ですが、こういう時こそ一致団結して頑張ろう!」との阿部分会長の締めあいさつでひとまず解散となりました。

その後、場所を神田に移して懇親会が開催されゲームの余韻にひたりました。

今回はフ口野球観戦ということもあり参加者も限られてしまいましたが、より多くの組合員の方が参加できるレクを今後も企画したいと考えておりますのでよろしくお願ひします。



(参加者全員で記念撮影)

日 刊 A 新東京	No. 6 7 4	2011年 7月5日 (火)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

節電の夏

## 熱中症に注意！

去年、熱中症で救急搬送された人は全国で5万4千人。今年は、政府・東電が家庭や企業などに節電の協力を呼びかけていますが、無理はぜったい禁物です。

### \*どのような条件で発症するのか

人は汗をかくことで体内の熱を放出して体温を下げます。しかし、梅雨時のような高温・多湿な条件だと皮膚上の水分（汗）がだらだらと流れ落ち気化しにくくなり、そのうち発汗による体温調整ができなくなってしまいます。無風状態である屋内においては尚のことです。屋内での作業は注意が必要です。汗をかいてる間、水分や塩分（ナトリウム）などがどんどん失われていきますので、早めに水分と塩分（ナトリウム）の補給をしないと脱水状態に陥ってしまいます。気をつけましょう。

### \*どのような症状になるのか

Ⅰ度（軽症）体は熱を下げようと皮膚の血管を拡張させるため、血圧が下がりめまいや失神をおこします。また、水だけの補給だと、血液中の塩分（ナトリウム）が不足し、手足に痙攣をおこすこともあります。

Ⅱ度（中等症）血液の循環がさらに悪くなると、頭痛、吐き気、倦怠感、虚脱感がおこります。

Ⅲ度（重症）言動がおかしかったり、呼びかけても返事をしなくなります。真っ直ぐに歩けないなどの症状がでてきます。体温も40度以上になり、臓器の機能に障害がおきます。体温調節機能が働かず、汗も出なくなります。

### \*健康あつての節電

人は軽い脱水状態ではのどの渴きを感じないので、こまめにスポーツドリンクなどを摂るようにしましょう。

「健康あつての節電」を忘れずに！

## チャイナ・シンドローム

入局した年に「チャイナ・シンドローム」という映画を観た。かれこれ32年ほど前か。

原発を取材中のTVクルーが、偶然原発事故を撮影してしまう。これをスクープしようとするが、局の上層部の圧力で没になってしまう。一方、発電所の技師が原発の欠陥に気付き、精密検査を願い出るが、会社側は黙殺し、操業を強行する。利益優先で事故を隠べいしようとする会社。技術者としての誇りと正義を貫こうとする技師。そして、それら事実を伝えようとするTVクルーの話だった。

よく「～シンドローム（症候群）」という言葉が使われるが、おそらくこの映画で最初に使われたのではないだろうか。この映画に興味を持ったのは、喜劇役者のジャック・レモンが社会派サスペンスに挑んだということと、この映画が米国で公開された直後にスリーマイル島で原発事故が起きたからだった。

この映画のアドバイザーを担当したのが、デール・プライデンボー氏（79）だ。この映画より3年前、彼は、GE（ゼネラル・エレクトリック）で原発の沸騰水型炉「マークI」を開発した原子炉技師だった。氏は、「マークI」の設計上の欠陥に気付き、会社に改善するよう求めたが拒否されたため、2人の同僚と共に抗議の辞表を提出し、一躍脚光を浴びたことで知られる。ジャック・レモン演じる原発技師は、まさに氏の分身みたいなものだったろう。

「マークI」は世界で40基ほど売れて、内の10基が福島第1原発の1～5号機だ。福島第1原発の1号機は67年に着工している。問題点は大幅に改善されたとはいえ、福島と同型の「マークI」は米国には24基あり、地元では停止運動が盛り上がっているようだ。

映画のタイトルである「チャイナ・シンドローム」とは、米国で原発がメルトダウンしたら、核燃料が地球を突き抜けて中国にまで達するという映画の中のジョークだ。しかし、今の日本では、ただのジョークとして受け取れない。

京都大学の小出原子炉実験助教授は「溶けたウランの塊がメルトスルーを起こし、建屋のコンクリートの土台を溶かし地面にめり込んでいる」と指摘しているからだ。これが事実なら地面にめり込んだ核燃料は冷却もできず地下水脈に届き、川や海は高濃度の放射性物質で汚染されてしまうだろう。未だ収束の見えない原発事故。大量に被曝してもなお、命を危険にさらし作業に当たっている労働者。ならば労働組合は、原発に対し「反対」の立場を鮮明にし、行動をおこすべきだと思う。（投稿）

# 節電熱中症に嚴重注意

今年は暑い、とても暑い…。

昨年の猛暑で熱中症による死亡者は全国で1700名。今年は政府・東京電力が「電気が足りない！」と節電を呼びかけていますが、無理は絶対禁物です。

今年の夏は長期予報によると昨年よりは暑くない…ということのようですが、6月に熱中症による緊急搬送された人は6900名であり去年6月の3倍となっています。

熱中症になった人の半数は高齢者だが、室内にいて体温が上昇して熱中症になる人が増えている。大震災被災地の避難所にはエアコンも扇風機もなく被災された方は大変な思いをしている…というニュースが流れ「被災地も大変なんだ、だからエアコンはつけない」という人や大規模停電なるから…という「節電ムード」でエアコンを我慢して熱中症になる「節電熱中症」が急増しています。節電して熱中症になるのでは本末転倒です。

室温が28度を超えるようなら迷わずエアコンをつけましょう。

職場では社屋内における軽装化の拡大「郵政版スーパークールビズ」が7/1より実施されています、詳しくは組合役員まで…。

東京支社は熱中症対策として「社員の健康面を第一に考え取り組むものであり、室温28度設定を徹底するなど、室内の換気や水分補給など社員等へ周知していきたい。空調機から出される空気が28度というのではなく、あくまで室温28度を保つ考えである」としています。この一週間くらいはとても暑く、すでに新東京支店でも体調不良者が何人も出ているらしいが、はたして室内の温度管理がきちんとなされているのか疑問である。

現場での「暑い！」「いや節電だ！」とのやりとりよりも正確な温度計で温度・湿度を計測して職場の労働環境の把握を徹底してもらいたい。暑くて休憩できない休憩室は勘弁してもらいたい…。

## 日本郵政グループ労働組合新東京支部第4回定期支部大会告示

日本郵政グループ労働組合運営規則第2条に基づき、日本郵政グループ労働組合新東京支部第4回定期支部大会を下記のとおり召集する。

### 記

1. 名称 「日本郵政グループ労働組合新東京支部第4回定期支部大会」
2. 日時 2011年7月31日（日）11時00分～16時00分
3. 場所 ホテル ラングウッド
4. 議案 (1)第1号議案 2011年度活動方針（案）  
(2)第2号議案 日本郵政グループ労働組合新東京支部運営細則（案）  
(3)第3号議案 2011年度予算（案）  
(4)その他

以上、告示する。

2011年6月30日  
日本郵政グループ労働組合  
新東京支部

## 医療共済 マイガードに入ろう 加入随時募集中

割安な掛金の医療共済です。補償額が入院1日、3千円、5千円、1万円から選べます。医療に関する保険に加入していない人はまず入っていた方がよい共済です。入院、手術や骨折、1日入院なども対象となります。病気が発見されてからでは加入できませんので、検査を受ける前に加入しておきましょう。深夜勤での疲労の蓄積は思わぬ病気を引き起こします。ぜひとも検討を…。  
詳しくは組合役員まで…



# 2特分会分会会議 レイアウト問題・職場課題・地本大会議案検討

7月7日、2特分会は組合事務室において分会会議を開催しました。佐々木分会長から「5月末に支部委員会へむけて会議をやつて以来の開催ですが、レイアウト問題や職場課題、7月13日からの地本大会へ議案書検討をやつていきます」とあいさつがありました。

木村書記長より全国大会の報告があり、続けて地本大会議案の検

討をやりました。

職場の問題ではさまざまなが論議されましたが一部紹介します。

- ①レイアウトの変更について
- ・1特有証受け入れ場所は2特からも応援で作業しているがとても狭い、広げられないのか
- ・ライトの点灯で取りに來いというのは変えられないのか、一円も

金をかけないでやること自体おかしい

・通行帯：2・3特前の有人車の通行帯が狭いが歩行者通行帯へ「ちよつとはみ出せばいい」というのではだめでしょ、1普を通過して1特側へ行く道は危険だと声が上がっている、ゆうパック側へ回れないのか

・大きな変更なのに業研のやり方はひどい、6月15・16日に説明して17日に決定し20日変更した、A番は職場に出てきて初めて知った人も多い、昨年のゆうパック大混乱の教訓が生かされたとは言えない

・壊れたLRB置き場となっているけど直すなり捨てるなりしてくれないのか、人より空P優先なのか

・各課の管理職はどこで何をやっているのか不明、自分の課がいそ

がしくても見ていない、現場に関心がないのでは：

## ②書留集中処理について

- ・ 試行はどこまでやるのか、評価反省はどうなっているのか
- ・ 一通一通を手でより分けているのはどうなんだ、作業している者は徒労感でいっぱいになっている、そこまでやる必要があるのか、はつきりいつて機械はムダ
- ・ 読み取り率を上げるように頑張る必要があるのか、データーとして正しくないのではないか
- ・ 記録票札の〇キ（まるき）表示（機械供給に適しているものが入っている：とされているもの）は2割程度しかない、中身もほとんどわけられていない、実態は把握しているのか
- ・ 機械は毎日のように止まっている、区分率もとても低い、70%を超えるのがやっと、5ケース持つ

て行って2ケース持って帰ってくる

- ・ 集中処理の作業がより良くするための検証もやっていったほうがいいのではないか、結束できているから「順調」となっているのではないか、やりつ放しの感がある
- ・ 拡大実施が言われているがどうなのか

## ③その他

- ・ 書留作成機の更改が言われているがどうなのか
- ・ 職場環境悪すぎる、作業場が暑いけど安全衛生委員会はなにやっているのか、倒れる人が出るぞ：などなど
- 紙面の都合上これ以上は報告できませんが、管理職手当、分会夏レク、新分会体制、支部大会の議案書（18日以降に発行予定）の検討、などについても論議しました。

## 第4回定期支部大会の予定

第4回定期支部大会を開催します。大会の焦点は職場での組合活動が中心ですが、東北関東大震災の復旧・復興に長期的かつ持続した取り組みをJP労組新東京支部としてどのように関わっていくのか、郵便事業会社の事業再生をどのようにはかっていくのか、などの課題が山積しています。

- ・ 日 時 2011年 7月31日（日） 11時開会
- ・ 大会会場 ホテル ラングウッド

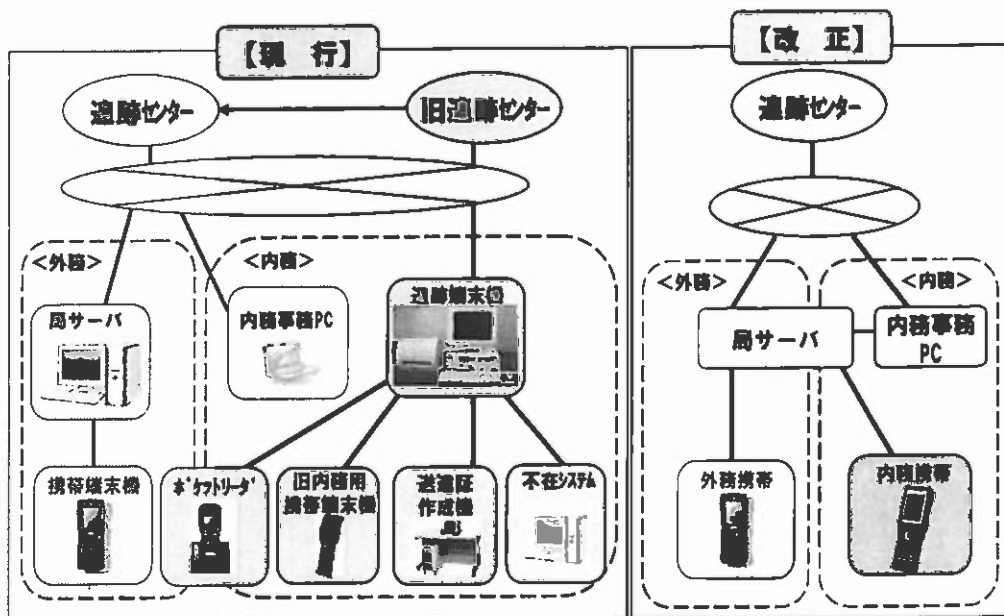
## 旧追跡センター・追跡端末機等更改に伴う

### 内務用携帯端末機による運用の開始

老朽化している旧追跡センター・追跡端末機などの旧端末機を平成23年10月以降に更改し、内務用携帯端末機（以下「内務携帯」といいます。）による運用を開始します。

現在、フロントラインに配備されている複数の専用端末機（ポケットリーダー、旧内務用携帯端末機、送達証作成機及び不在システム）の機能を一本化し、これまでの追跡情報入力及び保管情報入力に授受のIT化機能を新たに付加した内務携帯による運用を開始するというものです。

この件については、先に東京支社（本郷支店）及び南関東支社（〒21地域の7支店）の8支店において、平成23年1月から書留郵便物等の支店内における授受のIT化について試行をしてきましたが、当該支店からの報告に加え、ヒアリング等の結果、特段の支障はなく円滑な業務運行が図れているとしています。



【実施概要】

内務携帯の機能	内 容	全国実施	先行実施 (28支店)
①追跡情報入力 (現行と同機能)	・差立、到着等の追跡情報の入力 ・書留郵便物等の送達証の発行 ・書留郵便物等の運記式配達証の作成	23年9月	23年8月
②保管情報入力 (現行と同機能) 一部の支店	・不在持戻り郵便物等の検索、照会及び 保管管理	23年10月	—
③授受のIT化 (新機能)	・郵便課における到着処理から集配営業 課への書留郵便物等の交付		23年8月
	・集配営業課における区間移動授受		
	・集配営業課から郵便課へ返納		
	・料金収納の交付、返納	—	

【先行実施】

対象支店

支 社	対象支店	支 社	対象支店
北海道	手稲、北広島	東 海	名 東
東 北	仙台北、泉	近 畿	大阪旭、東淀川
関 東	越谷、上尾	中 国	津山、長府
東 京	本郷、高輪	四 国	松山、徳島
南関東	川崎港、川崎、高津、登戸 宮前、中原、麻生	九 州	玉名、植木
信 越	長野	沖 縄	浦添
北 陸	富山、富山南	合計	13支社 28支店

※ 東京及び南関東支社における対象支店は、平成23年1月から授受のIT化(一部の機能)について試行中。

【全国実施】

◆対象支店：全支店

◆今後のスケジュール

○追跡情報入力

23年7月 支社・先行支店インストラクター研修

8月 支店リーダー研修

9月 支店フロントライン研修・実施

○保管情報入力・授受のIT化

23年9月 支社・先行支店インストラクター研修

支店リーダー研修

10月 支店フロントライン研修・実施

以上

# あつい！暑い！ メットの中はムシムシだ！

最近の日刊紙には、「節電」「熱中症」等に関する記事が多くなっている。

関東地方も先週の土曜日に梅雨明けとなり夏本番に突入した。

職場では毎日のように『暑い暑い』の声が聞こえる。例年と違うのは、ゆうパック職場ではヘルメット

を着用して作業していることです。

さて、ヘルメットを着用して作業しているゆうパック職場はどうなっているのか。

当然なのであるが『ヘルメットをかぶって作業していると頭が蒸れて頭から熱くなる』の声。

『ヘルメットを着用してから髪の毛が傷んだ。』髪が薄くなった？ような気がする』との笑うに笑えない会話も聞こえる。本冷房になって現場は多少涼しくなった。

日刊  
**ア**  
新東京

No. 682

2011年  
7月15日(金)

日本郵政グループ  
労働組合  
新東京支部  
広報部

03-5606-6784  
内線 4353

しかし、作業場所によっては冷房の効果が全く効かない場所がある。

天窓から光が差し込んでくるシユート。明かり取りの為に天窓が、みんなを苦しめている。

天窓の改善のために一考を求め。

『供給作業場、取扱注意区分場、薄物区分場等は熱が籠って冷房の効果なんて全然ない。』との悲鳴も聞こえてくる。

みんな、Tシャツが汗でビシぬれになって仕事をしている。『何回もシャツを着替えて』作業しているという。

この状況を考えてか、昨日、打鍵席に扇風機が一台配備さ

れた。

『え？ たった一台なの。もっと暑い場所があるのに……』というのが現場のこえである。

ヘルメットの蒸れ対策も何とかならないものか。

『メットの中に冷却剤をいれている』と個人対策をしている人もいるようだ。

汗が滴り落ちるので、メットの中にタオルを入れている人も多い。

暑さ対策で髪の毛を短くする人も増えている。

時々、メットの臭いを嗅ぐと臭い臭い。消臭グッズが欲しい。

ヘルメットが配備されたときの文書を見ると「夏場について

は考慮する」との文言があった。

しかし、考慮どころか労基署の指摘という事で「作業棟に入った時点からヘルメットを着用する事」という指導になっている。イマイチ納得がいかない指導である。

福利厚生施設についても甚だ疑問である。

暑さが厳しなり、風呂に入ってから帰る人も増えたようである。

私もその一人であるが、久々風呂に入って気がついたのは、排水の悪いこと。大勢の人が一斉に使い出すと、垢が浮いた水が流れなくなる。

シャワーの壊れている箇所も

ある。

男性は風呂に入ったりシャワーを浴びて帰れるが、女性はどうしているのだろうか？

深夜労働に占める女性の割合も増えている。女性がいつでも利用できる風呂、シャワー室を考えて欲しい。

ゆうパック部では熱中症で具合が悪くなり休む人も増えている。

先日、救急車で病院に運ばれた社員もいる。

節電の指導もあるだろうが、働く者が快適に作業できる環境を考えるべきである。

（ヘルメットで髪が薄くなり  
そうなく 投稿）

日 刊 新東京	No.683	2011年7月19日(火)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

## 女性フォーラムについて

### 女性フォーラムの位置づけ

- 1 女性フォーラムは、すべての女性組合員を対象とし、自己啓発や学習・交流を目的としたセミナー等を企画・開催し、組合活動へ参画する意識の醸成を推進していく。
- 2 中央及び地方においては、学習・交流を図る中で取り組むべき課題を基本組織と共有化し連携するなど、緩やかな組織として活動を展開する。
- 3 連協及び支部においては、女性組合員により身近な組織として、情報交流やコミュニケーション活動を展開するとともに、組織活動に対する参画意識を高め、組織の強化につなげる。
- 4 執行権を有しない補助組織として、組織の指導の下、中央・地方・連協・支部の構成とそれぞれの役割を生かし、有機的な連携を図っていく。
- 5 各段階の常任幹事は、必ずしも兼務を要しない。

### 支部女性フォーラム設置に向けて

- 1 平成23年2月に行われた宿泊会議にて、各分会から代表者（女性組合員）を選出してもらい、報告が間に合わなかった分会もありましたが、4月には各分会の代表者が決定しました。
- 2 平成23年3月2日には、「中央連協女性フォーラム常任幹事」として、第二普通分会より、**山内春佳さん**に快諾してもらいました。

支部大会後すみやかに、第1回会議を開催し、「支部女性フォーラム」の活動をスタートさせたいと思いますので、みなさんのご協力をよろしくお願いします。

日 刊	<b>JP新東京</b>	No.684	2011年7月20日(水)
		日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部	
		TEL 03-5606-6784 内線 4353	

## 渋谷支店・代々木支店におけるゆうパック 配達機能強化に関する具体的実施計画

東京支社は、6月28日、「労使関係に関する協約」第80条(3)に基づき標題の計画について、また7月8日に同協約第80条(4)に基づき同計画に伴う具体的要員措置計画の提示を行ってきました。

現在、渋谷支店区内のゆうパック業務については、平成18年3月より、代々木支店で到着処理後、同支店を起点として配達業務を行っていますが、配達先までの足伸び、幹線道路の渋滞等により、集荷や再配達等の対応に苦慮していました。また、クレーム対応については、郵便に関するものは渋谷支店、ゆうパックに関するものは代々木支店等、それぞれで行っており、配達品質に関する情報の一元管理が出来ていない状況で、不在留置となったゆうパックについても、代々木支店での受取り等、お客様の利便性についても問題がありました。

これらの課題を解消するために、渋谷支店のゆうパック業務を代々木支店から渋谷支店に変更することにより、お客様の利便性や配達先までの足伸び等の課題が改善されるとしています。(図-1参照)

また要員計画の概要は現在分離されている渋谷支店管内



のゆうパック配達業務を代々木支店から渋谷支店に戻すことに伴い、代々木支店において発生する過員の解消を図るため配置転換を実施するというものです。具体的には配置転換先を渋谷支店とし、現在従事している業務を引き続き渋谷支店で従事するとしています。対象となる社員周知については、平成23年7月29日(金)～8月12日(金)の間に個別対話を実施し平成23年10月12日(水)に実施予定としています。(図-2)

支社は期間雇用社員については、要員措置の対象としていないが該当支店に対し対話等適宜の方法により個別対応を行い、本人希望を確認するとしています。

#### 【図-1】ゆうパック業務別概要

区別	郵便区	現行	改正	備考
差立処理	渋谷	渋谷	渋谷	現行どおり
	代々木	代々木	代々木	
到着処理	渋谷	代々木	渋谷	渋谷支店区内を渋谷支店で実施
	代々木		代々木	
配達業務	渋谷	代々木	渋谷	渋谷支店区内を渋谷支店で実施
	代々木		代々木	
集荷業務	渋谷	渋谷・代々木	渋谷	現行、渋谷支店区内は地域・種別により両支店から集荷
	代々木	代々木	代々木	
不在留置・窓口交付	渋谷	代々木	渋谷	現行、渋谷支店受取希望は、渋谷支店へ送付し、窓口交付
	代々木		代々木	

#### 【図-2】要員措置計画、支店別減員数

支店名	計画人員	
	郵便(内務)	郵便(外務)
渋谷	1	1
代々木	▲1	▲1

日刊  
**ア新東京**

No.685

2011年  
7月21日(木)

日本郵政グループ  
労働組合  
新東京支部  
広報部

03-5606-6784  
内線 4353

# 第四回地本大会報告

## 7月13・14日、熱海市「熱海後楽園ホテル」(上)

7月13日・14日、静岡県熱海市「熱海後楽園ホテル」にて第4回定期地方大会が行われました。

新東京支部から代議員として下山支部長・井上書記長・荒牧執行委員が参加し、傍聴には阿部執行委員・郵便企画分会から大和田さん、1普分会から高橋さんが参加しました。

地方大会は開会宣言のもと3・11の東日本大震災で郵政グループで61名もの尊い命が失われたことに対し参加者全員で黙祷がありました。続いて

佐藤執行委員長の挨拶があり、東北地方へのボランティアと救援物資の送付に感謝の言葉がありました。また、郵政グループとして6月28日現在1315万5933円もの義援金カンパが集まったことにたいしての感謝の言葉がありました。組織拡大では、昨年の12月20日に目標であった3万人組織を達成した事にお礼と感謝がありました。しかし、春闘の一時金交渉ではギリギリまで交渉したが、社員の雇用を守る事を第一に会社の債務超過を防

ぐため苦渋の妥結に至った経緯の報告がありました。

来賓の挨拶として、臼杵(うすき)中央執行委員長が「東北地方の支援に対する感謝、聖域なき構造改革の必要性、郵政関連法案の早期成立、現場の再生なくして事業の再生なしという思いで取り組んでいかなければならない」、大野博連合東京会長は「東北地方のボランティアを連合関東ブロックも派遣してきたが、8月・9月にも3泊4日の予定で行う予定なので、希望者がいれば協力よろしく願います」とあいさつをいただきました。

勝野成治郵便事業会社執行役員兼東京支社長から「3・11のお見舞いと支援の感謝、23年度の営業拡大と品質の向上、事故労災の防止、利益重視の営業、競合他社からの奪還営業、局会社との一体による営業収入確保。品質の向上に関しては、コストカットの面で聖域は設けず、現場からも意見を吸い上げていきたい。24年度単年黒

字に向けて全力で展開していくので協力を願いたい」との言葉がありました。

続いて、組織表彰があり最優秀支部に東京郵便輸送支部、優秀支部に西多摩支部・港支部がそれぞれ表彰されました。この組織表彰は、組織拡大は勿論ですが共済の加入率も含まれます。

新東京支部としては、引き続き組織拡大を目指すのは勿論の事、共済加入にもより一層力を入れ来年度の地方大会では表彰されるよう頑張っていきたいと思います。

会議が始まって3時間半、ようやく議案書の答弁に入りました。

重複する意見は割愛させていただきます、ご了承下さい。

### 【発言と答弁】

○東京北部支部・中央支部・足立支部：震災の絡みで、会社主導で自主避難出来なかったのか？ 交通・通信が遮断された中で、各会社・支店で対応にバラツキがあった。人命優先の状況で、

社員の安全確保はどうなっているのか？ グループ全体での統制が必要では？ 会社ごとの指示がバラバラ。事業会社では、バイク・自転車帰宅するのは絶対にダメだと言われたが、保険・貯金は許されたので会社ごとで違うのが疑問に思った。

【地本見解】支部・支社の命令機能が上手くいかなかったのは認めるところ。混乱した状況での現場判断であったと認識している。災害での危機管理体制が良くなかったが、今回を教訓にして今後の体制作りをしていきたい。

○西南支部：組合のホームページについて、福利厚生申し込みで自分で申し込んだ内容が確認出来るように対応して欲しい。

【地本見解】検討していきたい。

○品川支部：2011・12年度の活動方針案に賛成の立場ですが、組織強化・支部分会の強化において地本の強

いリーダーシップを発揮してほしい。研修会や勉強会・学習会等を要求したい。

【地本見解】遠慮なく地本に言って欲しい。支部・分会活動の強化に力を貸していく。研修会等はすでに今年度の予算を組んでしまっているので、調整させて欲しい。

○中野杉並支部・練馬支部：管理者の勤務管理について、勤務時間が守られていない。管理者の再教育などきちんと見てもらえるよう地本からも言って欲しい。

【地本見解】管理者の勤務時間管理については、引き続き求めていく。

○足立支部：試作品ゆうパックについて、1枚ものの商品がブームが過ぎ去った後に登場してくる。お客様のニーズに敏感にスピード勝負の試作品開発を。

【地本見解】こちらについては求めていく。 つづく

# 第四回地本大会報告

7月13・14日、熱海市「熱海後楽園ホテル」(下)

7月13日・14日、静岡県熱海市「熱海後楽園ホテル」にて第4回定期地方大会が行われました。

○かんぽSC支部・東京中央支部：春闘交渉で、JP脱退者も出ている。次年度では一時金が戻るように強く交渉を！経営責任を追求する部分で、管理者責任についてはどういった話し合いが行われているのか？昨年7月1日の混乱では現場の組合員が支えたが、その時管理者は指示も出さず組合員が

超勤で残っている中で定時に帰宅する事例も見られた。全ての人ではないが、管理者の管理体制を築かなくてはいけないのでは？人事交流の絡みで、事業会社で大規模な人事交流が行われたが、人事交流に伴う機能低下が出てきている。ただ単の活性化だけなら必要ないのでは？JP EXの転籍者の処遇で、異動してきた社員のそれぞれの能力にあつた配置を求める。

【地本見解】春闘一時金に関しては、誰一人として納得していない。我慢だ

と認識している。次年度については、これから交渉していただく方が現場の意見を吸い上げて行きたい。JP脱退者だが、突き詰めて話をしていくと春闘の一時金だけが理由だとは認識していない。支部・分会の強化をこれからお願したい。管理者責任については、そういった管理者がいるのも事実だと思う。現場の管理体制・教育・研修は強く支社に求めている。JP EX・人事交流については、採用が少なくなっている中で、適材適所の人事交流は必要だと認識している。

○貯金支部：一時金、全社員納得していない。会社不信・組合不信もある。ただ、脱退者が出ていないのはこの局面を打開するのは労働組合しかないとの認識があるから。それでも疑心暗鬼に陥っている。賃金カット・雇い止め等の労働条件の切り下げで増資化をすすんじやないか？

エネルギー政策について、本部は検

討段階ではないと全国大会で示したが、現在の国民世論を見ると、組合員の問題に対する意識や興味が増している。是非、組織的に工夫した何らかの議論や取り組みが出来るように示して欲しい。

【地本見解】労働条件の引き下げで現状の状況を何とかするのは納得いかないのは当然だと思っている。我々も同じ気持ちである。発展できる事業としての経営戦略があつての事だと認識している。エネルギー政策については、基本的に全国大会の方針に乗っ取って行きたいのでご理解願いたい。

○城北支部：ゆうゆう窓口について、防犯ブザーが設置されていない。民営分社化に伴い金融機関では無いので設置しないとされているが、それはどうなのか？ 夜間は社員の数が少なく、犯罪に巻き込まれる可能性は否定出来ないのでは？

【地本見解】ゆうゆう窓口のブザーに

ついては、継続して求めていく。

○渋谷・目黒支部：節電関係で、暑さ対策でスーツ組と現場での差が大き過ぎる。スーツ組は、スーパークールビズで対策出来ているが、現場は通気性の悪い制服のみ。お客様と直接触れない所では何か対策を。

特約ゆうメールに信書が入っている事例が見受けられるが、他社を追随する前に自社商品の見直しを。

【地本見解】節電関係で、15%を守らないと罰金を払わないといけないので、暑さ対策は支店単位で工夫してもらうしかない。自社商品の見直しは、損益改善にもつながるので求めていきたい。

### 【3号議案】各支部賛成

以上、これで全ての答弁が終了し、この後各号議案賛否投票があり全て承認されました。

地方本部・中央委員選挙が行われ、東京地方本部執行委員長に山内達也、副執行委員に平野研治、書記長に小林忍、書記次長に渡邊広明、新東京支部所属より小林厚志が地本執行委員に任命されました。

2日間に渡って行われた地方大会も最後、大会宣言が読み上げられました。

活動のキーワードを「心をひとつに」とし、災害からの復旧・復興支援、郵便事業再生に向けた取り組み、郵政改革法案の成立に向けた取り組み、組織基盤の確立など当面する諸課題への対応方針を全体で確認しました。

また、来年の第5回定期全国大会は東京で開催されます。

組織目標を達成し、「心をひとつに」をキーワードに全ての活動を前進させ力強い組織を構築しようと呼びかけ、誓い合い2日に渡って行われた定期地方大会を終了しました。

# 『負けじ魂』に精一杯の応援を！！

日 刊

# ア 新東京

No.687

2011年  
7月25日(月)

日本郵政グループ  
労働組合  
新東京支部  
広報部

03-5606-6784  
内線 4353

## 連合関東ブロック第二次派遣団として活動！

7月20日(水)～7月23日(土)の間、連合関東ブロック第一次派遣団として岩手県住田市にある五葉公民館の体育館をベースキャンプとし大船渡市を中心に行うボランティア活動に参加しました。

体育館には全国から64名の連合の仲間が集まり、寝泊まりを共にし(もちろん雑魚寝ですが、布団はあ

ります)、複数班に分かれそれぞれ班長が決められ行動します。

関東ブロックは総勢7名で9班でした。他の関東のメンバーは17日から活動していましたが、東京は前半・後半と別れ滞在期間が短かったため、名残惜しく後ろめたさも感じました。しかしながら、活動の必要性を実感し、今後もたくさんの方ボランティアが東北を訪れることを期待して、今回のボランティアの内容をお知らせします。

初日と最終日は、移動でほとんど費やしてしまったため、実働は21日と22日の2日間でした。

朝は6時30分起床、7時20分朝食、8時20分にバスに乗って大船渡にある災害ボランティアセンター(通称ボラセン)に向かいます。9時にボラセンに到着し総班長が本日のボランティア内容の指示を仰ぎ活動開始です。無理をさせないよう15時に作業終了し1時間かけて温泉に向かいます(温泉に入れたのは助かりました)。18時にキャンプに戻り、色々と整理をして18時30分から班会議で今日の報告をまとめます。(連合関東ブロックの救援ニュース報告の為毎日作成しますが、この30分で担当は作るので忙しいです。)そして、19時から夕食となり、夕食後自由時間となります。(しかし、二日に一度、食事当番が回ってくるため配膳や食器洗いをしなくてはなりません)自由時間は、基本、班で集まり懇親会をして11時に消灯。非常に規則正しい生活になります。

〜21日活動内容〜  
ホテル再出発に向けて

21日は大船渡の海からほど近い海の見えるホテルで、海水で濡れた2F客室の壁紙剥がしと、泥で汚れたお膳洗浄の作業をしました。私は、壁紙剥がしをしました。壁紙が薄くなっているのと慣れない作業とで、すぐに破れてしまい容易ではありませんでした。結局、壁紙を最後まで剥がすまで至らず歯がゆい思いで終了しました。

作業前、指示を出す宿主が「細かい作業指示は分かりません。ただ、綺麗にしてくれればいいです」当然の気持ちだろうと感じました。ただ、20日から3F客室3室にボランティアで来ている方を宿泊させていると聞きました。復興に向けての強い気持ちに、逆に勇気をもらいました。



〜22日活動内容〜  
救援物資倉庫搬入・側溝泥出し

22日は、午前中支援物資で届いた荷物を市民体育館に搬入し、午後はカリー店前側溝の泥出し作業をしました。どちらも体力勝負の作業で翌日腰が痛くなりました。

午前中の作業では、市職員らしき方4名も一緒に作業しましたが、体育館内は既に多数の救援物資で埋め尽くされ保管場所がなく、おのずと入れづらい2Fスペースへの搬入となりました。黙々と作業するさながら、一人がスマップから届いた物資に目をやり、その話で一時手を止め和やかな雰囲気になりました。ある職員が、呟くように何度も「ほんとに助かります」というその言葉に、この行動に参加してよかったと実感しました。



〜最後に〜  
ボランティアの必要性を再確認

この派遣を通じて、改めて今回の震災の甚大さを再確認すると同時に、継続した救援活動の必要性

を実感しました。同時に大船渡の方々の復興へ向けた強い意欲を感じることもできました。滞在中、訪問してきた方に壊滅状態となった町で一本だけ残った松の木について話してもらいました。その地域では、その松に支えられ勇気を貰い、今なお復旧に向けて前進しているそうです。それを東北の『負けじ魂』と名付けたそうです。  
私達の行動は、一人ひとりほんとは小さい事だと思えます。しかし、どんなことでもいいから被災地を想い、未永く行動していかなくてはならないと強く感じました。



## 放射能汚染と人災 ～隠蔽されていた事実～

原発事故から4か月以上が経過した。食べ物への放射能汚染は牛肉にまで広がった。餌の稲わらがセシウムに汚染されたことに起因した。ところで、原発が爆発を起こす前の3月12日未明に、放射能の広がりを予測するSPEEDIのデータが官邸に届けられていた。これが公表されたのは、10日後である。すぐに公表されていれば、稲わらへの汚染は防げたと言われている。そんな中、今回は隠蔽された事実の中で最も酷い内容を紹介する。

事故発生直後、原発周辺の人々は唯一の幹線道路である国道114号線を使って北西方向に向かった。原発周辺から27キロ地点の浪江町赤宇木(あこうぎ)や30キロ地点の津島の方がより安全と考えた。実はこの時、放射性物質も北西方向に流され、3月15日の雪によってこの辺りや飯館村が突出した汚染地域となった。

このことは民間の科学者が福島県内の汚染度合いを調査する過程で発見し、3月末に住民に知らせた。そしてさらに遠くへ避難させた。もちろん国の対応は全くなかった。その時の模様をNHKが取材していたが、測定器は80 $\mu$ Svというとんでもない数値だった。国は知らなかったのか。

実は、「国は赤宇木地区の汚染を最初から知っていた」のである。SPEEDIによる予測を参考にし、3月15日より原発から北西20～30キロ付近のモニタリング調査を密かに開始した。下の文章は3月16日に文部科学省から出されたものである。文科省のHPにはそっと掲載した。

しかし、どこを測定地点にしたのかを明らかにしたのは4月11日のことだった。同日、飯館村をはじめ計画的避難地域が設けられた。ちなみに車内でも300 $\mu$ Svを観測した地点③こそが、赤宇木地区だった。わずか3時間で年間被曝許容量に達する地区に、避難民は20日近く滞在した。情報隠しによる被曝である。このデータは官邸に上げられたが、3月16日の枝野官房長官の会見は「ただちに人体に影響が出る数値ではない」だった。今思うと、広がる汚染は人災であることを象徴した発言である。

福島第1原発所及び第2原発所周辺の空間放射線量の測定結果について

平成23年3月16日  
文部科学省

1. 概要

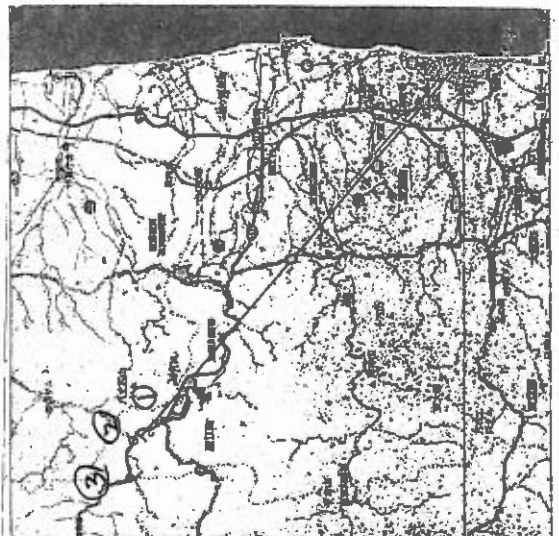
文部科学省は、特選している住民や周辺住民の安全、安心の確保のためモニタリングカーを用いて、現在、汚染区域となっている、飯館から半径20キロメートル以上、30キロメートル以内の範囲でモニタリングを実施した。(別紙)
2. 測定条件

  - ・測定日時 平成23年3月15日 20時40分～90分
  - ・測定箇所 GMカーベータ計及び環境放射線計
  - ・測定箇所 浪江町周辺(福島第一原発所から北西20キロメートル)
  - ・測定対象 車内及び車外で測定
3. 測定結果

本日、モニタリングカーを用いて、空間放射線量を測定した結果は下記の通りである。

(マイクログンシーベルト毎時)

測定地点	測定環境	測定結果	
		GMカーベータ計	環境放射線
①	車内	22.3	2.60
	車外	2.55	3.00
	車内	2.20	1.95
②	車外	2.70	2.40
	車内	3.00	2.10
③	車内	3.30	2.40
	車外		





## 0.5%が語るもの

福島市に住む子供の尿からセシウムが検出された。しかも、検査した10人全員陽性であった。また、福島や郡山の子供に大量の鼻血や下痢、倦怠感といった体調異変が広がりつつあるようだ。放射線との因果関係はまだ明らかではないが、チェルノブイリ事故の際も同じような症例があったようだ。

その一方で、牛肉からセシウムが検出された翌日のある新聞で、セシウムは2か月で体外に排出されるから、あまり騒ぎ立てるとかえって風評被害を引き起こすといった社説が掲載された。正直驚いた。

年間100ミリの放射線を浴びると0.5%がんの死亡率が高まると言われている。ある学者は言う。人は33.3%ががんで死ぬ。日本人全員被曝しても33.8%になるだけだ。他方適量であっても飲酒はがんの死亡率を引き上げる。放射線の影響は喫煙や生活習慣など他の要因に隠れてしまうので問題ないと。このような議論は事故当初からあちこちでされていたが、いまだに続いている。

一見納得してしまう議論だが、違和感が付きまとう。まず、適量の飲酒は心疾患リスクが低減することで平均寿命が飲まない人に比べて5年高い。寿命が延びればがんが原因で死亡する確率はその分大きいので単純に比較できない。また、0.5%の増加というのがこれは平均であり、年齢別に分けると0.5%は45歳くらいにあてはまり、細胞分裂が盛んな子供では、そのリスクは十数%に及ぶ。33.3%という数字と一緒にすること自体ウソである。

加えて、喫煙は何百ミリSvと同じだとか、よくそんな無謀な議論が言えると思う。放射能汚染だけはどうにも避けられないが、喫煙やその他生活習慣は、本人の責任主体である。かつて、交通事故死者が1万人を超え、法律の厳罰化、取り締まり強化、車両の安全対策など様々な努力の結果5000人減らすことができた。0.5%の増加を日本人全員にあてはまると50万人である。50万人をあたかも誤差のように捉えていいものであろうか。

(投稿)

日 刊

# ア 新東京

NO 690

2011年  
7月28日(木)

日本郵政グループ  
労働組合  
新東京支部  
広報部

03-5606-6784  
内線 4353

## 高齢者の就労意欲と雇用の現状

高齢化が社会問題となつて久しい。

日本の65歳以上の人口割合は、80年以前はひと桁台であったのが、2010年には23・13%に達しており、世界で最も高齢化の進んだ国となった。そこで問題となるのが、労働力の不足だが、60歳以上の男女約1000に対する意識調査では、職業からの引退すべき年令では、男性では「60歳ぐら



い」が10%強、「65歳ぐらい」は40%弱、「70歳ぐらい」は30%強となっており、年金の支給開始年令の引き上げや収入の問題もあるが、欧米と比較しても就労意欲は高い。では、高齢者雇用の現状である。厚生労働省の「高年令者雇用状況調査」では2010年6

月現在、従業員数31人以上の企業133、413社では「定年の廃止」を実施した企業は2・8%、「定年の引き上げ」は13・9%にとどまっております。「継続雇用制度の導入」は83・3%にのぼる。現時点で、高年令者雇用確保措置としての企業の主たる取組は「継続雇用制度（そのなかでも再雇用制度）」であり、「定年廃止」を行う企業は少ない。

また、「継続雇用制度の導入」をしている企業で希望者全員が65歳以上まで働ける企業についてみるとその割合は46・2%であり、規模別には中小企業で48・8%だが、大企業では24%にとどまっている。

高年令者雇用確保は産業界に浸透しているものの、大企業で遅れている。

J P 総研リサーチより

## 所在不明

### 132人

事故から4カ月たっても収拾のめどがたたない福島第一原発の事故。

今月13日、東京電力は3月から4月にかけて現場で働いていた労働者の被爆線量を発表したが、その中で連絡がつかない労働者が132人いることを明らかにした。当然、これらの労働者は被爆の精密検査は受けていない。東電、「協力企業」のさまざまな管理を露呈したことになる。

かつて、「原発ジブシー」という本が発行された。自ら原発の中で作業に従事し、隠された

現場の実態を告発した本です。定期検査の中で放射能の危険にさらされ、アラームの音に怯えながらの作業を強いられる。点検が終わると次の原発へと流れていく日雇い労働者の姿を表したものです。



原発での労働者の実態は下請け企業が「協力企業」に変わっただけで内実は以前と変わっていないだろう。

(下)

## 年金納付60%割れ

厚生労働省は、昨年度の国民年金の保険料納付率が60%を割り込んだことを発表した。

納付率がとくに低いのは若い世代が多く、20代は5割をきり、30代前半が50・9%と、かろうじて5割を越えている。

08年には厚生年金に入れないパートなど非正規労働者が加入者全体の4割を占め、この層の保険料納付率は35%にとどまっている。

この背景には若者の雇用構造が正規から低賃金の非正規への移行が進んでいることや、これまでの年金制度への不信感があるとみられている。このままいくと将来大量の無年金者が出ることになる。

日刊  
**JP新東京**

No.691

2011年  
7月29日(金)

日本郵政グループ  
労働組合  
新東京支部  
広報部

03-5606-6784  
内線 4353

真の組合員の幸せの実現をめざして

# 第4回新東京支部 定期支部大会

## 組合員一人一人が考え参加する大会へ

7月31日の日曜日に第4回新東京支部定期支部大会が荒川区ホテルラングウッドで開催されます。大会議案書も組合員に配布されています。大会議案書も組合員に配布されています。大会議案書も組合員に配布されています。読んでいただき職場の声を分会でまとめて持ち寄ってください。

今大会議案の考え方は、①3月11日に発生した岩手県三陸沖を震源とするM9.0の「東北地方

太平洋沖地震」の復旧・復興にむけて6月に開催された全国大会で確認された支援活動をJP労組として長期的かつ継続した取り組みとしていくにはどうしたらいいのか、新東京支部としてどのよう実践していくのか、ボランティアや義援金カンパのとりまとめ、支援物資の送付、従来の発想を超えて取り組むことを論議していき

い。

②大震災で発生した福島第1原発のメルトダウン・水素爆発による放射能被害の実態が次々に明らかになっていく中で「J

P労組」としては「国の基本政策」を出し切れないという弱さを認めつつも、支部としては一定の論議の必要性と学習会なども開催し原発事故の恐ろしさを考えていきたい。

③郵便事業再生の取り組みは、2011春闘の妥結に至った経緯の中で明らかになったように事業会社は事業存続の危機を迎えています。我々の働いている現場が利益を上げているんだという自負のもと、現場の知恵を生かして会社と自由に論議をし、事業再生の道



筋を一つでもつけていきたい。

④会社との交渉を促進する大きな力は組織力です。職場代表機能の確立に向けて未加入社員・ゆうメイトさんへ加入促進をします。組合に加入して職場の問題や事業政策などをともに考え改善の要求や問題解決に一緒に取り組みましょう。

真の組合員の幸せ実現という大きな目標に向かい新東京支部一丸となって取り組むために組合員一人一人が考え参加する大会にしていききたいと考えています。来年の次期全国大会は東京で開催することが決定しています。「東京大会」の成功を勝ち取りたいと思っております。

支部大会への多くの意見反映をお願いします。

新東京支部 支部長 下山 薫

## 「郵政未来研究会(みらい研)」に入ろう

働くものの公正・公平そして安心・安全に働き暮らしていくことのできる社会と郵政事業を守り発展していく政策の実現を目指しJP労組の政治活動を推進していくことを目的に郵政未来研究会を設立しました。

郵政事業・税制・環境・教育・社会保障・平和…私達の暮らしと未来は政治と密接に関係しています。詳しくは組合役員まで…

## 31日 福島で原水禁世界大会

原水爆禁止日本国民会議(原水禁)や、第五福竜丸の乗組員が被ばく(禁)世界大会が三十一日、福島市のホテルで開かれる。福島市の者の声を伝える。

反核運動に対し、一般の関心は地報告に加え、チェルノブイリ 低下気味だったが、原発事故を受け、今年はずもや



福島第一原発の事故後、反原発を訴えて王をする人たち。5月7日、東京都内で

集会が盛んに開かれている。「威勢よく反核を訴えるだけではなく、福島の人々に寄り添う気持ちも大切にしたい」と原水禁では話す。大会は広島、長崎でも八月に開かれる。

## 被災地支援ボランティア活動の募集

対象期間 8月3日～10月1日

参加日数 3泊4日(移動日込み)

ベースキャンプ 岩手県

救援先 陸前高田市・大船渡市

※詳しくは組合役員まで…